



新型コロナウイルスのもとで Part2 ~こんな工夫・取り組みをしてきました(会務編)~

〈vol.10〉

新型コロナウイルス禍における消費者教育

会員 北原 尚 (67期)

消費者問題特別委員会消費者教育部会では、長年にわたり学校等に出向いて消費者教育講座を行ってきた。しかし、2020年春、新型コロナウイルスが猛威を振ると、学校等からの出張講座の申込みは激減した。

他方、本年4月の成年年齢下げを間近に控え、消費者教育の重要性はいっそう増しつつあった。そこで、少数ながら申込みがあった講座については、学校側と連携し、校内放送や大講堂で実施するなどの感染対策を講じたうえで、できる限り実施してきた。感染防止の見地から、講師と生徒が近距離で対話をしつつ進めるような双方向型の講義は残念ながら実施困難になったものの、各講師が授業の構成やスライドの作り方、話し方など様々な面で創意工夫をこらし、できる限り一方的な講義にならないよう、新しい講義のスタイルを模索してきた。

このように、新型コロナウイルス禍により、当部会の消費者教育活動は一時的な停滞を余儀なくされた一方で、講義の方法を工夫する契機にもなった。

また、個人的な活動にはなったが、新型コロナウイルス禍の下、講座以外の方法による消費者教育の推進



も試みた。その結果、佐伯理華会員、工藤寛泰会員と私の有志3名で、「マンガでわかる あなたを狙う消費者トラブル40例」(弘文堂)を上梓した(上記画像はその一部)。特にマンガのシナリオを作成する作業には予想以上の手間を要したところ、その際に得た経験などを今後当部会が行う消費者教育講座にもフィードバックしていきたいと考えている。

今年度に入り、出張講座の申込みは回復傾向にある。当部会では、新型コロナウイルス禍の下で実施した講座や講座外での部会員の経験を活かしながら、いっそうわかりやすく、興味を引くような消費者教育を目指して活動を進めていきたい。



こちらから読んでね

合併号ノ夏

